

消防本部からのお知らせ

熱中症

熱中症は、高温・多湿の環境下で、体温調節や発汗作用が上手に働かなくなることによって発生する病気です。

死に至る恐れのある病態ですが、適切な予防法を知っていれば防ぐことができます。

これからの季節は、熱中症になりやすい気候です。体調に注意し、上手に予防していきましょう。

■市消防本部 ☎55-4141

周りの人が注意
してあげてください！



高齢者はもともと若年者より体内の水分が少ないため、脱水症状に陥りやすくなっています。こまめに水分を摂りましょう。寝たきりの高齢者がいる場合は特に注意してあげてください。

高齢者



晴天時は照り返しなどにより地面に近いほど気温は高くなります。このため大人が暑ければ、子どもはさらに高温な環境にいます。ベビーカーの乳幼児にも注意が必要です。

子ども 32℃

35℃

熱中症を予防しよう！

1 体調の管理

「睡眠不足」「過労」「二日酔い」「風邪などの病気」で体力が落ちている時に、暑い外を歩き回ったり運動をしないこと。

2 環境の調整

「風通しの良い」「吸湿性のある」服装に。外出時には帽子や日傘を準備し、時折涼しい木陰やクーラーのある室内で休憩をとる。

3 水分補給と塩分補給

冷たい水をこまめに飲む。大量に汗をかくことは水分だけでなく塩分も同時に失われています。塩分が不足することで「熱けいれん」を起こす可能性もあります。適した飲み物はスポーツドリンク。ただし、摂取カロリーが気になる方は少し薄めて飲むようにしてください。



大丈夫か！
しっかりしろ！

6月5日(日)~11日(土)は 危険物安全週間

危険物 決める無事故のストライク

危険物の保安に関する意識の高揚と啓発の推進を目的に、全国でさまざまな行事などが行われます。市消防本部においても、危険物施設への立入検査の強化による避難・通報・消火などの訓練指導、リーフレットの配布などを行い、危険物に起因する災害の未然防止に努めていきます。皆さんも取り扱いについて十分にご注意ください。

※身近なものでは、ガソリンなどが危険物に該当します



地震に強い家づくりをサポート！



平成28年熊本地震では多くの家屋が倒壊し、多くの死者が出る惨事となりました。強い地震発生時には『揺れから身を守る』ことが最優先です。そのためには、建物などが倒壊しないことを第一に考えなければなりません。市では地震に対する補強などをサポートしていますので、この機会にぜひ活用してください。

防災の スズメ

「もしも」に備えを！

■防災対策課 ☎57-8501

自宅を耐震化しよう！

「耐震診断」から「耐震補強」まで補助します

※補助対象…昭和56年5月以前に建てられた住宅

特に、昭和56年5月に改定された耐震基準を満たしていない住宅は耐震性が低く、強い揺れが発生するだけで倒壊の危険性が高まります。命を守るため、耐震診断と耐震改修工事を行いましょう。

※耐震診断などの登録業者は県住宅課ホームページでご確認ください（閲覧できない場合は、市防災対策課までお問い合わせください）



▶業者への支払い前に補助金がもらえます！

右記「耐震改修設計・工事」補助は、業者からの請求書のコピーで手続きができるようになりました。これにより、支払い時における補助金分の一時的な立て替えが必要なくなりました。

詳しくはお気軽に
防災対策課まで！



■耐震診断の診断費用を補助します

- 木造住宅…自己負担3千円(市が差額を負担します)
- 非木造住宅…3万円補助

■耐震改修設計にかかった費用を補助します

設計にかかった費用の2/3の額(上限:20万5千円)

■耐震改修工事にかかった費用を補助します

上限:100万円

■避難道沿いや住宅密集地の老朽化住宅撤去にかかる費用を補助します

撤去にかかる費用の4/5の額(上限:164万5千円)

■避難道沿いのブロック塀などの撤去などの費用を補助します

上限:20万5千円

家具などの転倒が不安！

宅内の地震対策機器購入を補助します

■対象器具

- ①家具などの転倒防止器具や照明の落下防止器具
- ②ガラス飛散防止フィルム
- ③感震ブレーカー
- ④扉の開閉を防ぐ開閉防止器具など

■補助金額

補助対象経費の1/2(上限:1万円)



いろいろ組み合わせて
複数購入可！